

最善を尽くして颯爽たれ 本校の校訓です。一年間の力をためて一気に美しく咲いた校庭の桜は、本校の校訓を具現化したかのようです。桜が咲き誇る中、その堂々と咲く桜に祝福され、本日ここに令和二年度 茨城県立多賀高等学校 第六十八回入学式を挙行できますことは職員一同この上もない幸せであります。

日頃よりご支援をいただいておりますPTA会長 高田様にはご多用中にもかかわらずご隣席を賜り 心より御礼申し上げます。

ただ今呼名し、入学を許可しました
二百四十名の新入生の皆さん 入学おめでとう。保護者の皆様、お子様の本校への入学誠におめでとうございます。そして ご来臨ありがとうございます。

先月一日には本校から二百三十七名の卒業生が旅立ちました。本日はこうして、240名の皆さんを迎えることができ、茨城県立多賀高等学校 令和二年度がスタートできました。入学生の皆さんは、本校が創立七〇周年を迎える区切りの年の三年生となります。どうか本校で日々の研鑽を重ね、三年生の時に、七〇周年を飾る大きな成果を挙げていただきたいと思います。

本校は 昭和二十八年に、大久保地区・多賀地区の地元の方々の支援を受けて開校し、以来六十七年間にわたり、師弟同行・文武不岐の校是を守り、伝統を受け継いでまいりました。今までに本校を巣立った卒業生は三万人に達します。

入学生の皆さん、上級生と共にこの歴史と伝統を受け継いでいってください。

さて 三月から引き続き、令和二年度は、新型コロナウイルスにより先の予想できないスタートとなりました。明日にも非常事態宣言が、国から出されるかという状況の中、誰もが不安に思っています。九年前の三・一一が思い出されます。不安な日々を送りました。当たり前の日常がどんなに幸せであるかを実感します。

新型コロナウイルスが心配なことは事実ですが、皆さんの高校一年生という時間は、刻一刻過ぎていきます。この様な状況ですから、一時は、限られた環境での学習を強いられることが予想されます。ただ限られた環境ではありますが、その中でできることを精一杯頑張りたい。私たち教職員も情報を集め工夫し、皆さんの学習のサポートをしたいと思っています。います。世界を見渡しますと中国や台湾のように感染抑制に成功している国もあります。私たちは私たちができること 手洗いや咳・くしゃみのエチケットやマスクの着用、不要な外出をしないなどをきちんとこなし、この非常時をみんなで協力して、乗り越えていきましょう。そして間違いなく 日本はこの危機から回復します。その時皆さん一人一人慌てること無く自分の目標とする進路に近づいているよう本校での活動に積極的に取り組んで下さい。

結びに 保護者の皆様にあります。現在、学校の教育は教職員だけでは上手くまわりません。PTA活動の後押しがあつてのことです。どうかPTAに加入いただき、生徒への援助をお願いしたいと存じます。

三年後の生徒諸君の大いなる飛躍を願い期待して 式辞といたします。

令和二年四月七日

茨城県立多賀高等学校

校長 岡部 和也